



みなみかぜ あたた きたかぜ つめ 南風は暖かく、北風はなぜ冷たいの

あたた 暖められたり、ひ 冷やされた ふうき 空気がふきこむ

きせつ 季節のちがいによって、たいりく 大陸と うみ 海の間 に ふく 風を せつふう 季節風と います。

きたはんきゅう 北半球の夏は、うみ 海よりも たいりく 大陸のほうが あたた 暖まりやすく、このために、うみ 海から たいりく 大陸に向かっ て ふう 風が ふきま す。

たいへいよう 太平洋から たいりく 大陸に向かっ て なんとん 南東の ふう 風が ふく ので、日本では みなみ 南よりの あたた 暖かい ふう 風が ふきま す。みなみかぜ 南風が あたた 暖かいのは、たいへいよう 太平洋が たいよう 太陽の ねつ 熱で あたた 暖められて、じょうくう 上空の ふうき 空気が あたた 暖かくなり、この ふうき 空気が ふきこむ から です。

ふゆ 冬には、たいりく 大陸は うみ 海よりも ひ 冷えこみ が 大き く、たいりく 大陸の ふうき 空気よりも うみ 海の上の ふうき 空気の ほうが あたた 暖かいので、たいりく 大陸から うみ 海に向かっ て ふう 風が ふきま す。日本では、シベリアの ほう 方から ほうせい 北西の つめ 冷たい ふう 風が ふきま す。きたかぜ 北風が 冷たいのは、たいりく 大陸の じょうくう 上空で ふうき 空気が ひ 冷やされ、つめ 冷たい ふうき 空気が ふきこむ から です。

みなみはんきゅう 南半球では、あたた 暖かい せきどう 赤道が きた 北にあるために ぎやく 逆になり、きたかぜ 北風が あたた 暖かく、みなみかぜ 南風が つめ 冷たくなります。

はる 春や あき 秋の みなみかぜ 南風 や きたかぜ 北風

はるさき 春先に ふく 南風は、たいへいよう 太平洋の こうきあつ 高気圧が 著しく へつたつ 発達し、にほんかい 日本海を ていきあつ 低気圧が とお 通るときに 起こります。この ふう 風が あたた 暖かいのは、たいへいよう 太平洋上から ふきこんでく る、あたた 暖かい ふうき 空気のためです。

はる 春や あき 秋には、いどうせいこうきあつ 移動性高気圧と ていきあつ 低気圧が、かわるがわる 日本付近を 通りま す。移動性高気圧が とお 通るときには、きたかぜ 北風が ふく ときが あります。このときの きたかぜ 北風が つめ 冷たいのは、きた 北の じょうくう 上空の つめ 冷たい ふうき 空気が なが 流れこむためです。(監修・村山 貢司)

